

研究課題名：当院の造血幹細胞移植における急性腎障害合併の現状とリスク因子、予後に関する検討

1. 研究の対象

2013年1月～2021年2月までに同種骨髄移植を受けた方。

2. 研究目的・方法

目的：造血幹細胞移植は、多くの難治性血液悪性疾患の根治療法として広く行われているが、移植後に急性腎障害を合併し生命予後にも影響するとされている。しかし、AKIの発症頻度および発症リスク因子に関する報告は様々で定まったものがない。

今回、リスク因子の検討及び急性腎障害の予後に与える影響について検討した。

方法：造血幹細胞移植後の1ヶ月までの期間に、移植前値に比しSCr値1.5倍以上の増加、または、経過中の48時間以内に0.3mg/dL以上のSCr値増加を認めたものをAKIと定義した。AKI群と腎障害の生じなかった非AKI群の2群間において、リスク因子の差異があるか比較検討した。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、血液疾患のばらつき、高血圧症、糖尿病の既往、血縁非血縁、HLAの一致、移植前化学療法回数、全身照射量、使用薬剤、採血データなど。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当 寺島 貴之
〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
TEL 022-384-3151（代表）（内線974）

研究責任者：宮城県立がんセンター腫瘍循環器科 加藤 浩
〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
TEL 022-384-3151（代表）（内線7828）